

次期計画の目標項目について（案）

次期計画における目標の考え方

1 目的

計画や各基本方針の進捗状況を測るために目標項目（指標）を設定する。

2 指標の選定

- ・計画全体に係る項目で特に重要な指標を「計画全体の総合指標」と位置付けるほか、基本方針の内容に基づき、「各基本方針における指標」を選定する。
- ・計画や各基本方針の進捗状況を客観的に測ることができる項目とする。
- ・毎年度、実績値を測ることができる項目とする。

※現状値について、特に記載がない場合は、令和7年度単年の実績値とする。

計画全体の総合指標

項目	説明	現状値
①農業生産額	・野菜、花き、果樹、米、麦、大豆、飼料作物、 工芸作物、景観作物、畜産の生産額の合計 ・「福岡市農林水産統計書」により算出	7,556 百万円 (※R6)
②農業所得額	・専業農家の農業所得の平均値 ・市が実施する「農家所得調査」により算出	4,044 千円 (※R6)

各基本方針における指標

【生産に必要な基盤を守る】

項目	説明	現状値
③園芸ハウス補助の受益戸数	・補助事業を活用し、園芸ハウスの新設または長寿命化に取り組んだ農家戸数 ・所管課による集計により算出	20 戸
④農業用機械の補助件数	・補助事業を活用し、導入された農業用機械の数 ・所管課による集計により算出	48 件 (※R4～7nd)
⑤防災重点農業用ため池のハザードマップ整備率	・市内の防災重点農業用ため池におけるハザードマップの整備率 ・所管課による集計により算出	56.8%
⑥農地の貸し手と借り手のマッチング成立面積	・農地所有者が貸したい（売りたい）農地と借りたい（買いたい）農業者のマッチング成立面積 ・所管課による集計により算出	0.4ha
⑦耕作放棄地再生面積	・再生された耕作放棄地の面積 ・所管課による集計により算出	9 ha (※R6)

【経営の確立を後押しし、担い手を確保する】

項目	説明	現状値
⑧スマート農業の導入数	・新たにスマート農業を取り入れた件数（福岡市が把握した件数） ・所管課による集計により算出	46 件 (※R2～6nd)
⑨有害鳥獣による農作物被害額	・市内における、鳥獣による稲・野菜・果樹等の被害額の合計 ・福岡県による「野生鳥獣による農作物の被害状況調査」への回答により算出	28,997 千円 (※R6nd)
⑩農業研修受講者数	・新規就農に向けた研修（農福連携に取り組む福祉事業所向けの研修を含む）、女性のための農業インターンシップ等の受講者数 ・所管課による集計により算出	52 人
⑪新規就農者数	・新たに農業経営を開始した者（農家の子弟の経営承継を含む） ・所管課による集計により算出	29 人 (※R6nd)

【市内産農産物が選ばれる環境をつくる】

項目	説明	現状値
⑫有機 JAS 認証事業者数	・有機農産物の有機 JAS 認証を取得している市内の事業者数 ・所管課による集計により算出	1 者
⑬「ふくおかさん家のうまかもん」の市民認知度	・市が実施する「市政アンケート調査」により算出 ※『ふくおかさん家のうまかもん』を知っていますか」の問いに対して、「言葉も、内容も知っている」「言葉は知っているが、内容は知らない」と答えた人の割合	18.0%
⑭学校給食への市内産農産物利用割合	・市立小学校の学校給食における主要品目の野菜の利用割合 ・所管課による集計により算出	26.5% (※R6nd)

【農村地域を活性化する】

項目	説明	現状値
⑮過去3年間に農業と身近に接した経験がある市民の割合	・市が実施する「市政アンケート調査」により算出 ※「あなたは、過去3年間に、農業と身近に接した経験がありますか」の問いに対して、「特にない」と答えた人及び無回答だった人以外の割合	45.2%
⑯福岡市の農林水産業を守り育てていくべきだと思う市民の割合	・市が実施する「市政アンケート調査」により算出 ※「あなたは、今後も福岡市の農林水産業を守り育てていくべきだと思いますか」の問いに対して、「守り育てていくべき」と答えた人の割合	80.3%